

火山国日本の底力

参議院議員
客員相談役
藤井 基之



今年一月十九日、霧島山の新燃岳が噴火、続いて二十二日、二十六日と噴火が続き、世間を驚かせました。その後、これまでに何度か噴火を繰り返し、火口から三千メートルも噴煙が上がったこともありましたが。特に、周辺の地域では「空振」と呼ばれる空気の強烈な振動が発生し、住宅のガラスが割れるなどの被害があったということです。霧島市や宮崎県高原町、都城市、小林市、遠く宮崎市にまで火山灰が降ったそうです。避難生活を余儀なくされている大勢の方々もおられ、霧島温泉など観光地への影響も大きく、一刻も早

く噴火がおさまり、以前のように静かな美しい山に戻ってほしいものです。ところで、活火山といえば浅間山が有名ですが、今から三百年前の天明三年（一七八三年）七月、大噴火が起こりました。この大噴火で、群馬県嬬恋村鎌原くまけん つまごいむら かまはらという村が壊滅的な被害を受けました。その折の感動的かつ、被災者たちのたくましさや伝える秘話が残されています。

たまたま、他所に仕事に行っていた人たちなどでした。家族全員が無事だったのは二家族だけ、六人十人という大家族であった人達も、ほとんどの人が一人ぼっち、二人ぼっちになってしまいました。

この九十三人の人たちが、鎌原村の再建に立ちあがったのですが、その再建のための第一の方策が、「家族の再生」でした。つまり、夫を失った妻と、妻を失った夫とを新たに組み合わせる夫婦にする。また、子どもを失った親と、親を失った子どもとを組み合わせる新しい家族を作ることにより、残った人々の団結を強めよう、という

のです。亡くなった夫や妻、あるいは父、母、子のことを思えば、心の葛藤は大きなものだったでしょう。しかし、七月七日の噴火で村が壊滅し、それから二ヶ月半を経た九月二十四日には、七組の結婚式が行われたそうです。離村する人も少しあったようですが、こうして、絆を強め、村人が一丸となって、火山灰や噴石、土砂で埋もれた土地を掘り起こして村を立て直し、今日に至っているということなのです。

日本は、第二次大戦により何もかも失いましたが、戦後の半世紀で世界第二位の経済大国に発展しました。その原点を鎌原村の出来事にみるような気がします。今、マスコミでは、日本はGDPで中国に抜かれたと大騒ぎしていますが、一億の人口と十三億の人口では、総量ベースで比較すれば、そういう結果になるのは当然でしょう。いずれ人口十二億のインドも日本のGDPを超えるでしょう。

しかし、問題は社会や経済、技術の実質です。極東の島国日本が、欧米先進諸国と肩を並べて三極の一つを張ってきた、その日本人の知恵と技術とエネルギーがあれば、これからもどんな国にも負けることはありません。現政権になって、政治も経済も何か日本が世界に取り残されてしまったかのように見えますが、皆様、自信をもちましょう！

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参議院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員(1期目)
平成16年 厚生労働大臣政務官(平成16年9月~平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問
平成22年 参議院議員(2期目)
- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師